



縄文時代を知ろう

富士眉月弧文化圏

およそ 5500～4500 年前の縄文時代中期、このあたりには「井戸尻・勝坂文化」と呼ばれる独特な暮らしがありました。中部高地・多摩丘陵・相模野台地・武蔵野台地で発見された、石器、土器、土偶や、土地の芸能、祭りなどから、その文化にふれ、世相による縄文時代像の変遷にいたるまで学んでいます。

今年、諏訪大社式年造営御柱大祭の年。七年一度の「おんばしら」から、「井戸尻文化」に迫ります。

講師（案内役）紹介 藤森寛行（スワニズムミシャグジ探偵）
 日野市立児童館非常勤職員
 早稲田大学文学部卒業 スワニズム
 故郷諏訪の郷土研究会、Suwa-Animismで、
 諏訪信仰と縄文時代中期の井戸尻・勝坂文化について研究している。



信州諏訪の御柱

講座のテーマ

縄文時代の信仰・祭り（おんばしらを手がかりに）

- ① 4 / 2 (土) 御柱祭（おんばしら）のルーツは縄文時代にあるか
- ② 4 / 15 (金) 「釈迦堂遺跡博物館・山梨県立考古博物館見学」-費用別途-
- ③ 5 / 7 (土) 信仰
- ④ 6 / 5, 6 (日・月) 「旧石器・縄文の旅 諏訪と八島ヶ原湿原」-費用別途-
- ⑤ 7 / 16 (土) カミのすがた

時間 10時～12時 第①土曜日（7月から第③土曜日）
 場所 社会教育協会「ゆうりか」
 （JR中央線 豊田駅北口 徒歩2分）

受講料 6,110円 全3回（保険料・消費税含）
 申込み 下記の電話かFAX でお願ひします
 TEL 042-586-6221 FAX 042-589-3626

対象 どなたでも
 主催 公益財団法人 社会教育協会
 〒191-0062 日野市多摩平 1-2-26 シンデレラビル 3階
<http://www.zaidan-shakyo.org>

※ 新型コロナウイルスの状況により、変更させていただく場合もあります。

